ビュッヒの「ECOプロジェクト」キャンペーン

蒸留・濃縮作業から有機溶媒が流出していませんか??

有機溶媒回収装置

BUCHI



有機溶媒回収装置 V-703 N-703 PROの特長

- 1. 真空バルブを使用しないスピードコントロールモードでは、<u>ポンプ</u> の稼働率を高精度に制御するため、無駄な動作を無くし、省エネを 実現。
- 2. ヒステリシスのない真空制御により、<u>突沸を和らげ安定した蒸留を</u> 実現!
- 3 低沸点溶剤などの溶媒回収率も従来のシステム(真空バルブでヒステリシス制御) に比べ飛躍的に改善。



仕様	V-700本体
排気量	30L/min (1.8m³/h)
真空到達度	<10 hPa (mbar)
電源電圧	100V50-60Hz 210W
重量	5.3kg

ビュッヒのご提案:

環境への溶媒の流出を防ぐために、

- 1 バキュームコントローラー
- ② 2 次コンデンサー

の使用を強くお勧めします。

① バキュームコントローラーの使用により

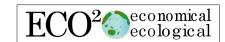


適切な真空度を保ちます。 (真空不足/過真空の状態では多く の弊害が起こります)



② 2 次コンデンサーの使用に より、最終の有機溶媒を回収し 流出を防ぎます。

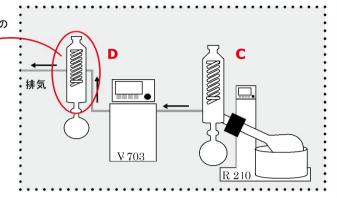
ビュッヒの有機溶媒回収装置のシステム例



ロータリーエバポレーター R-215V + 溶媒回収装置 V-703







- ▲ 蒸留フラスコの高回転数により、安定した効率の良い加熱が行え、蒸留時間の短縮が可能です。約40%省エネ化!
- B コンデンサー部はビュッヒオリジナルの構造により、 1次凝集+2時凝集で溶剤の回収率をアップします。 (上記図中の1次凝集→ピンク、2次凝集→黄色)
- C 減圧蒸留時の温度設定は、バス温 60°C・蒸気温度(沸点) 40°C・冷却水 20°Cを推奨します。(60/40/20 の法則。蒸留に は各温度差が最低 20°C必要です) スピードコントロールによ る適切な真空値で蒸留と溶媒回収が行えます。
- D エバポレーターのコンデンサーで取り逃がした溶媒は、真空ポンプのコンデンサーでしっかり回収!大気圧条件での凝集は沸点が高くなり回収率が向上します。

多検体蒸留濃縮装置 シンコアシリーズ <u>+ 溶媒回収装置 V-7</u>03 PRO







ガラスチューブオーブン + 溶媒回収装置 V-703



V-703タイプ(V-850付)とV-703 PRO タイプ(V-855付)の違い

機能	V-703型 (V-850)	V-703 PRO型 (V-855)
大型液晶+日本語表示	•	•
アナログデジタル圧力メーター	•	•
溶剤データーベース(43種類)	•	•
Manual (マニュアル) モード	•	•
Timer (タイマー) モード	•	•
AutoDest(自動蒸留)モード	-	•
EasyVac (簡易自動蒸留)モード	-	•
Gradient (グラジエント) モード	-	•
Repeat (リピート) モード	-	•
LabVac(ラボバック)モード	•	•



<V 703内訳>
V 700本体
V 850パキュームコントローラー
コンデンサーセット 断熱カバー付
ウルフびん
PTFEチューブ



< V 703 PRO内訳>
V 700本体
V 855パキュームコントローラー
コンデンサーセット 断熱カバー付
ウルフびん
PTFEチューブ

● このカタログに記載の価格および仕様、外観は2010年2月現在のものです。
 ● 製品改良のため、仕様および外観が予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
 ● カタログの色と実際の製品の色とは、印刷のため多少異なる場合があります。
 ● 本カタログに記載の価格には消費税は含まれておりません。
 ● ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。
 ● 有機溶媒を使用される際は、適切な排気装置が付いた細胞でが伸出する場合

SIBATA 製品のご用命は



http://www.ssw-shimadzu.co.jp



本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62 東京営業所 ☎03-3822-2111 大阪支店 ☎06-6356-8131 名古屋営業所 ☎052-263-9310 営業推進課 ☎048-933-1574

http://www.sibata.co.jp/

カスタマーサポートセンター(製品の技術的サポート専用)
OO 0120-228-766 FAX: 048-933-1590